



愛知県教育委員会 川原馨教育長様

2025年9月18日

請願人 行政を考える住民の会
事務局 宮崎邦彦

連絡先 〒
請 願

【看護婦→看護師 父兄→保護者 OL→会社員 キーマン→キーパーソン
嫁・婿→この妻・夫 保母→保育士 サラリーマン→ビジネスパーキンソン
主人→夫 家政婦→家事代行 女医→医師 女優→俳優 未亡人→故〇〇さん
の妻 無意識の偏見をまず言葉から 2023年3月8日 朝日新聞】等の指
摘、相互批判のできる学校、職場にすることをとめるための請願。

請願の理由、趣旨

- 1 International Women's Day (2023年3月8日 朝日新聞)

私たちに染み付いた無意識の偏見をまず言葉から変えていく。

【看護婦→看護師 父兄→保護者 OL→会社員 キーマン→キーパーソン
嫁・婿→この妻・夫 保母→保育士 サラリーマン→ビジネスパーキンソン
主人→夫 家政婦→家事代行 女医→医師 女優→俳優 未亡人→故〇〇さ
んの妻 無意識の偏見をまず言葉から・・・を知る。

- 2 公的機関である学校における、児童生徒の呼び捨て。現在の実態は不明。
もしそのような場合、他のものが指摘することができているかということが
疑問。

{以下、名古屋市の事例であるが}

- 3 2023年、電話口で、名古屋市、市教委職員、生徒の保護者を呼び捨て不
適切対応について。その場で他の職員が指摘できなかったのか。
4 2023年6月3日、名古屋市が主催した名古屋バリアフリーに関する討
論会での差別発言に対して、(市)職員は発言の制止や、注意喚起など行わっ
た。報道によると、市長は、「熱いトークもあって良かった」とあいさつ、と
ある。放置できない発言である。

差別発言に対して、なぜ静止や注意喚起ができなかったのか、それぞれの職
員一人一人の、明確な理由、原因が、公表されているとはいいたい。

- 5 職員の不祥事のたびに、注意喚起とともに、研修等が取り組まれている。
しかしながら、その成果が、現れることを期待するが、そう簡単でないことは
明らかである。

研修効果が、表れるには、まずはその前提である、各人の人権意識等にある
といえる。そのために各学校、職場において、まず、無意識の偏見を言葉から、
ということで、日々、お互いに指摘しあえているか(相互批判できているか)
ということである。

「どんな意見も自由に言える」風通しのよい職場となっている。(名古屋市教委資料 危機管理と教職員の連携より)ということがいえる学校、職場かということである。

請願事項

- 1 各学校、職場において、日々、相互批判、指摘のできているかの調査をすること。相互批判、指摘された事例も明らかにすること。
- 2 各学校、職場、相互批判、指摘のできていない場合は、なぜか、その理由原因を、明らかにすること。
相互批判、指摘のできなかった事例を明らかにすること。
- 3 各学校、職場、不祥事、人権侵害に関する研修等において、職員に定着したと、思われる内容と、そのように感じた理由を明らかにすること。
- 4 各学校、職場、不祥事、人権侵害に関する研修等において、職員に定着不十分であったと、思われる内容と、そのように感じた理由を明らかにすること。
- 5 働き方改革に沿うために、全校・職場、調査になるので、委託して調査を行う予算措置をすること。

口頭意見陳述希望する